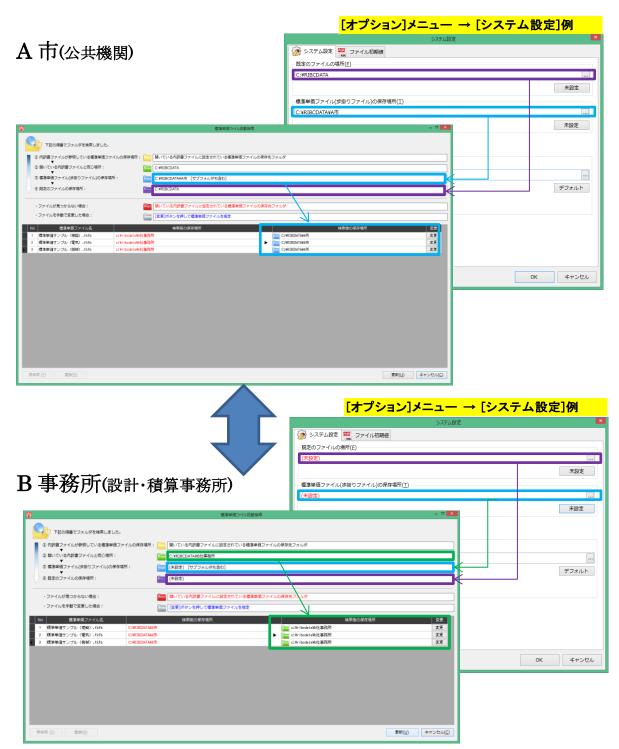
営繕積算システム RIBC2 の主な変更点(Ver.7.20からVer.7.30)

【内訳書作成システム】

1)「標準単価ファイル自動検索」機能

これまで、公共機関と設計・積算事務所等との間で内訳書ファイルのやり取りを行う場合、標準単価ファイルの設定を、毎回手動で変更設定する必要がありました。

この度、この作業を軽減するために、「標準単価ファイル自動検索」機能を追加しました。



※「標準単価ファイル自動検索」画面は、内訳書ファイルを[開く]または[単価表行の単価を一括で入れ 替え]をおこなう際に、標準単価ファイル名と保存先フォルダ名が赤字の状態の時に表示されます。

【注】内訳書ファイルを[開く]際に、標準単価ファイル名と保存先フォルダ名が赤字の状態の時には、[単価表行の単価を一括で入れ替え]画面の代わりに「標準単価ファイル自動検索」画面が表示されます。

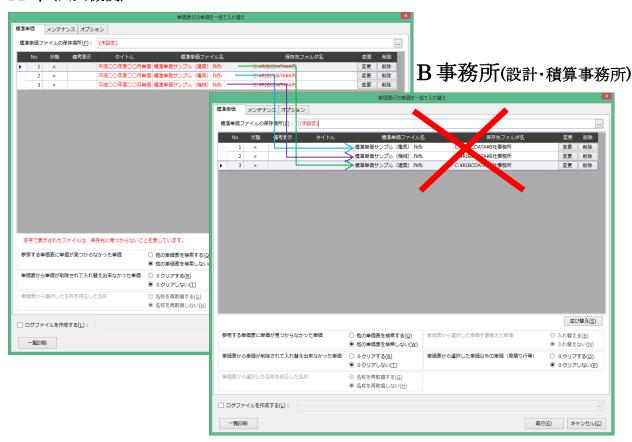
2) 同じ「標準単価ファイル名」は複数設定できない。

手動で標準単価ファイルの変更設定をおこなう際に、間違って元の設定と異なる順番で標準単価ファイルの設定をおこなうと、細目別内訳書等に登録済みの単価表行の標準単価ファイルの参照先がズレてしまい、「単価表行の単価を一括入替え」が正しくおこなわれない等の事象がありました。

この事象を防止するために、同じ「標準単価ファイル名」は複数設定できないようにしました。

【注】保存先フォルダが異なっていても、同じ名前の標準単価ファイルが設定済みの場合は設定不可>

A 市(公共機関)



間違った順番の設定例

No	A 市(公共機関)	B 事務所(設計·積算事務所)
1	標準単価サンプル(建築).fkfb	標準単価サンプル(電気).fkfb
2	標準単価サンプル(電気).fkfb	▼ 標準単価サンプル(機械).fkfb
3	標準単価サンプル(機械).fkfb	標準単価サンプル(建築).fkfb

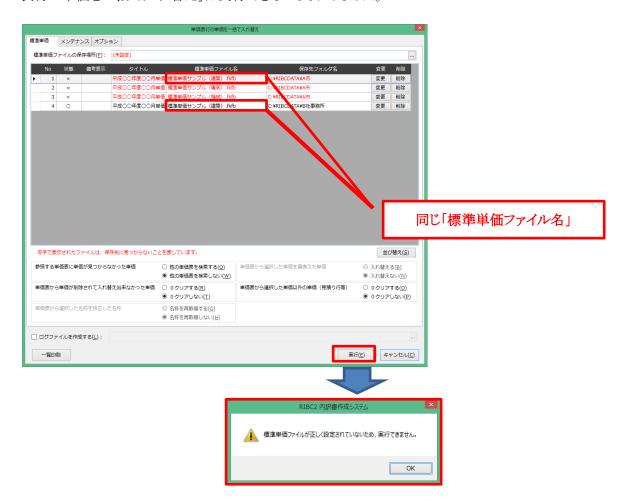
正しい順番の設定例

No	A 市(公共機関)	B 事務所(設計·積算事務所)	
1	標準単価サンプル(建築).fkfb	→ 標準単価サンプル(建築).fkfb	
2	標準単価サンプル(電気).fkfb -	→ 標準単価サンプル(電気).fkfb	
3	標準単価サンプル(機械).fkfb -	→ 標準単価サンプル(機械).fkfb	

3) 同じ「標準単価ファイル名」が複数設定されている状態では「単価表行の単価を一括で入れ替え」は実行できない。

同じ「標準単価ファイル名」が複数設定されている状態で「単価表行の単価を一括で入れ替え」をおこなうと、単価の「歩掛りの出典根拠」が消えてしまう事象がありました。

この事象を防止するために、同じ「標準単価ファイル名」が複数設定されている状態では「単価表行の単価を一括で入れ替え」は実行できないようにしました。



【同じ「標準単価ファイル」を 1 つにまとめ場合(例:No4 の[削除]ボタンを押して、No1に置換)】

